



こんげつ はなし 今月のお話

ねん たいしょう がつ きょうとし おかぎきこうかいどう
1922年(大正11年)3月,京都市の岡崎公会堂で

ぜんこくすいへいしゃ そうりつたいかい ひら
「全国水平社」の創立大会が開かれました。

これを機に、身分差別で苦しめられてきた人々は、差別をなくすための運動に立ち上がりました。

ぶらくさべつ いま けっこん きまた
部落差別により、今なお結婚を妨げられたり、

しゅうしょく ふこうへい あつか じんけんもんだい
就職で不公平に扱われたりするなどの人権問題

が発生しています。

この問題についての関心と理解を深め、偏見や差別をなくすことが必要です。



令和5年度人権啓発ポスターコンクール
最優秀グランプリ賞作品

わたし おとうと じへいしょう
私の弟は自閉症だ。

じへいしょう ひと にがて
自閉症とは、人とのコミュニケーションが苦手

ものごと つよ しょうがい
で、物事に強いこだわりがある障害のこと。

わたし おとうと ひび せいかつ じぶん おも
私の弟は日々の生活で自分の思いをつた

えるのが苦手だ。

かぞく ようちえん せんせい ともだち
でも、家族や幼稚園の先生、友達がやさしく

せつ よ たす あ おとうと
接し、寄りそい、助け合ったおかげで、弟はぐん

ぐん成長している。

じぶん おもい すこ あいて つた
自分の思いが少しでも相手に伝えられるよう

にもなった。皆が、寄りそったおかげで弟は

らいねん とうべつしえんがっこう にゅうがく
来年、特別支援学校に入学できる。

人間はひとりでは生きられない。支え合うもの

だから。

令和5年度人権メッセージ最優秀賞作品(高学年)

そつぎょう
6年生 卒業おめでとう!
そして
6年間 あいありがとう!



子どもの人権110番 (法務省)
0120-007-110
(全国共通・無料)

道はつづく

あんなに小さくて あんなにあどけなかった 入学のあの日の自分
今 ここにいる自分とくらべてみる
小学校での6年間 いっぱいの友達 いっぱいの思い出 いっぱいの感謝
生きていくうえで大切なことがわかってきたこの6年間
これからはじまる 新しい旅 新たな自分さがし
そして 新たな自分づくりの旅が

「こころのノート」より

